

単語リスト

スクラム

複雑なプロダクトを開発・維持するためのアジャイル開発のフレームワークです。

プロダクトオーナー

プロダクトに必要な機能を定義し、プロダクトバックログの追加・削除・順位付けを行う。

開発者

機能横断的な様々な技能を持った人がプロダクトを中心に集まり、自律的に行動する。

スクラムマスタ

スクラムチーム全体が自律的に協働できるように、場づくりをするファシリテーター的な役割を担う。

フェーズゲート

プロジェクトの開始、組織編成と準備、作業の遂行、プロジェクトの完了などの各プロジェクト・フェーズの終了時に実施するレビュー

プレシデンスダイアグラム法

個々の作業を四角で囲み、作業同士を矢印で結ぶことで作業順序や依存関係を表現する図法です。

定量評価

リスクの大きさを金額（数値）で表す評価手法です。

DSP(Digital Signal Processor)

主にリアルタイムコンピュータで使用される、デジタル信号処理に特化したプロセッサです。

有機 EL ディスプレイ

電圧を加えると発光する有機化合物で出来た発光層を使用したディスプレイです。

ストアドプロシージャ

データベースに対する一連の処理をまとめた手続きにして、データベース管理システムに保存したものです。

SFA(Sales Force Automation)

営業活動にモバイル技術やインターネット技術といったITを活用して、営業の質と効率を高め売上や利益の増加につなげようとする仕組み、またはそのシステムのことです。

ロングテール

膨大な商品を低コストで扱うことができるインターネットを使った商品販売において、実店舗では陳列されにくい販売機会の少ない商品でも、それらを数多く取りそろえることによって十分な売上を確保できることを説明した経済理論です。

MMU(Memory Management Unit, メモリ管理機構)

主記憶を管理するためのハードウェア機構で、アドレス変換機能やメモリ保護機能、キャッシュ制御機能、及びバス調停機能などを持っています。

ROI(Return On Investment, 投資利益率)

効果金額を投資額で割ったもので、投資額に対してどれだけ経常利益を生み出しているかを見る尺度です。

ニモニックコード(Mnemonic Code)

表意コードとも言い、値から対象のデータが容易に連想できる英数字・記号の組合せをコードとして割り当てる方法です。

JavaBeans

プログラムの再利用を目的としてJavaで書かれたソフトウェアの部品です。

PWM(Pulse Width Modulation, パルス幅変調)

信号の強度は一定のままパルス信号を出力する時間(width)を長くしたり短くしたりすることで電流・電圧を制御する方式で、インバータの制御方式として用いられています。

サービスレベル管理(Service Level Management)

顧客とサービス提供者の間でSLA(Service Level Agreement)を締結し、サービスレベルを定義、合意及び管理するプロセスです。

プリエンプション方式

OSがCPUやシステム資源を管理し、CPU使用時間や優先度などによって複数のタスクを実行状態や実行可能状態へ切替えながら実行していくマルチタスクの方式です。

プリエンプション(Preemption)とは、実行状態にあるタスクがCPUの使用権を奪われ、実行可能状態に移されることをいい、以下のいずれかの状態になったときに起こります。

ペネトレーションテスト(Penetration Test)

ネットワークに接続されているシステムに対して、実際に様々な方法で侵入や攻撃を試みることで脆弱性の有無を検査するテストです。

問題管理プロセス

インシデントや障害発生の根本原因を突き止め、インシデントの再発防止のための恒久的な解決策を提示することを目的とするプロセスです。

ピアレビュー(Peer Review)

「ピア(peer)」には同僚という意味があり、ドキュメントやコーディング作業が終了したソースコードに対して、作成者の同僚や研究仲間など立場の近いもの同士が実施しあうレビューのことをいいます。

共通フレーム

ソフトウェアライフサイクルにかかわる諸活動を網羅的に定義した百科事典のようなもので、そのまま適用するのではなく利用の局面において対象とするプロジェクトの範囲や重要度に応じた修整が必要となります。
修整(tailoring)とは、使用する開発モデルに合わせてアクティビティやタスクを取捨選択する作業で、共通フレームを適用する上での必須の活動です。

RFI(Request for Information, 情報提供依頼書)

企業・組織がシステム調達や業務委託をする場合や、初めての取引となるベンダ企業に対して情報の提供を依頼すること、またはその際に提出される文書のことをいいます。

デジタルフォレンジックス

不正アクセスや情報漏えいなどのセキュリティインシデントの発生時に、原因究明や法的証拠を保全するために対象となる電子的記録を収集・解析することです。

ゼロデイ攻撃

あるOSやソフトウェアに脆弱性が存在することが判明し、ソフトウェアの修正プログラムがベンダーから提供されるより前に、その脆弱性を悪用して行われる攻撃のことを指します。

M&A

合併(Mergers)と買収(Acquisitions)を組み合わせた言葉で、他社を自社に吸収合併したり、他社の株式を多く取得し買収することで子会社化することです。

垂直統合型

生産を行う工場が「部品工場」や「営業会社」等のサプライチェーンの上流や下流にある工程を企業グループに統合することで市場競争力や資材の供給力を高める形のM&A。

水平統合型

同業他社を買収する形のM&A。市場シェアや事業規模を拡大する目的などで実施される。

混合型

異業種との合併となるM&A。新規分野・新規市場に進出する目的などで実施される。

候補キー(Candidate Key)

主キーの候補となるキーのことで、表の中の1つのレコードを特定できる性質を持つ属性、または属性の組合せです。

デマンドページング

デマンド(demand)とは要求を意味する英語で、その名の通りアクセス要求があった時に要求があったページのみを主記憶に読み込む方式。

プリページング

ページにアクセス要求がある前に、前もって参照されそうなページを主記憶に読み込んでおく方式。

ファンクションポイント法

システムやプログラムの機能に基づいて全体の開発規模を見積もる手法で、外部入出力や内部ファイルの数と難易度の高さから論理的にファンクションポイントを算出して規模や工数見積りを行います。

アンチエイリアシング(anti-aliasing)

デジタル画像の物体の輪郭に現れるピクセルのギザギザ（ジャギー）を、なめらかに見せるために周囲（背景）の画素値と平均化処理をして描画するCG技法です。

フォロー・ザ・サン

2つ以上の異なる(大陸の)拠点に配置され、中央での統括管理によって24時間365日のサービスを提供するサービスデスク。

状態遷移図

コンピュータのタスクの状態変化やリアルタイム処理の状態変化など、時間の経過や状態の変化に応じて状態が変わるようなシステムの振る舞いを記述するときに適した図式化手法です。

SOA(Service Oriented Architecture)

従来ソフトウェアで実現されていた機能や部品を独立したサービスとして公開し、それらを組み合わせてシステムを構築するという考え方です。

オムニチャネル(Omni Channel)

販路として展開する実店舗、ECサイト、カタログ通販、モバイル端末などのシステムや仕組みをシームレスに連携・融合させ、どの方法でも同レベルの利便性で注文・購入できるようにした販売環境のことです。

EDI(Electronic Data Interchange)

電子データ交換と訳され、異なる組織間で取引のためのメッセージを通信回線を介して標準的な規約を用いて、コンピュータ（端末を含む）間で交換する仕組みのことです。

3 層クライアントサーバシステム

ユーザの入出力を担当するプレゼンテーション層、業務処理に依存するデータ加工を行うファンクション層、データベース処理を行うデータ層の3層に機能を分離したシステムモデル

ノンブリエンプティブ

マルチタスクOS上で実行されているタスクの切替をプログラム自身に任せ、プログラムがCPUを自発的に開放したタイミングで他のタスクへの切り替えを行うマルチタスク制御方式のことをいいます。

事前評価

実施前の投資案件に対して、内部の了解を得るとともに他のプロジェクトとの整合などの全体最適の観点から評価を行う。投資実行の可否を判断するための情報を提供する役割を担う。

スタックポインタ

スタックの最上段のアドレスを保持するレジスタで、スタック内で最後に参照されたアドレスを保持しています。

フェールセーフ

システムの不具合や故障が発生したときでも、障害の影響範囲を最小限にとどめ、常に安全を最優先にして制御を行う考え方です

IT サービスマネジメントにおける構成管理

すべてのIT資産を明確化し、これらの維持管理や他のプロセスが効率的なサービスを提供できるように構成情報の提供を行うプロセスです。

SRI(Socially Responsible Investment)

社会的責任投資と訳され、企業への株式投資の際に、財務的分析に加えて、企業の環境対応や社会的活動(CSR活動)などの評価、つまり企業の社会的責任の評価を加味して投資先企業を決定し、かつ責任ある株主として行動する投資手法です。

4C

Customer value（顧客価値）
Customer cost（顧客コスト）
Convenience（利便性）
Communication（コミュニケーション・対話）

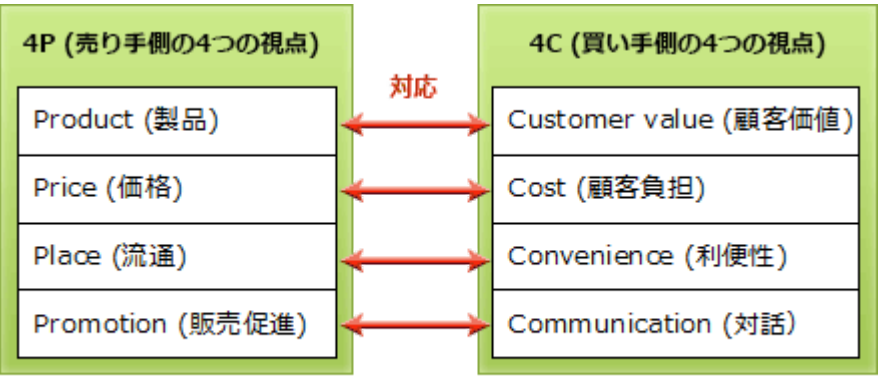


図 マーケティングミックスの4Pと4C

液晶ディスプレイ(LCD:Liquid Crystal Display)

外光や、フロントライト、バックライト等の光源により発せられた光を部分的に遮ったり透過させたりすることによって表示を行なうディスプレイです。

Man-in-the-Browser 攻撃(MITB)

ユーザPC内でプロキシとして動作するトロイの木馬(マルウェア)によってWebブラウザ〜Webサーバ間の送受信をブラウザベースで盗聴・改ざんする攻撃です。

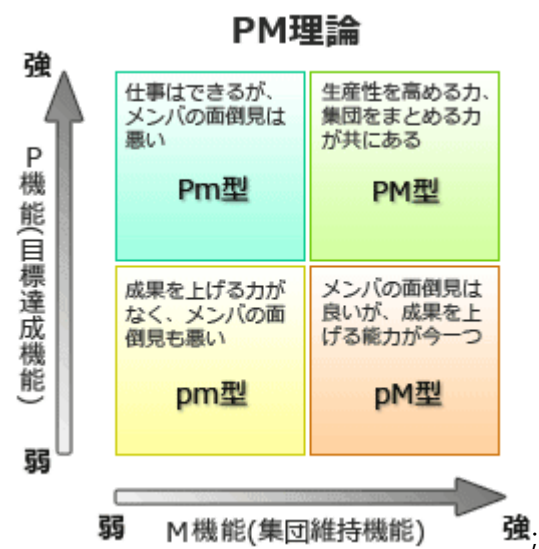
PM 理論

リーダシップは「P機能」と「M機能」という2つの柱で構成されているとする理論で、2つの機能の強弱の組合せでリーダのタイプを類型化して表します。

P機能(Performance function)

計画立案、指示、叱咤などによってチームの生産性を高め、目標達成に向けてチームをけん引していく能力

M機能(Maintenance function)
チーム構成員同士の人間関係を良好に保ち、チームワークを深める能力



プロジェクトマネジメントオフィス(PMO:Project Management Office)

企業内で並行して実施されている個々のプロジェクトのマネジメント業務の支援、プロジェクトマネージャのサポート、部門間の調整などプロジェクトが円滑に実施されるように支援を行う専門の部署です。

同期制御

2つの処理の待ち合わせが行われます。一方の処理が先に終了した場合でも、その先の処理に進まず、二重線が示すポイントでもう一方の処理の終了を待ちます。